



薬剤師向け研修講演会	2022/10/22	オンライン開催	85名	<p>【薬物療法の適正化を患者と医療者の視点から考える】</p> <p>1 「患者のところに寄り添う薬物療法とは」 山口育子（認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML）</p> <p>2 「腎障害時の薬物治療の留意点」 大野能之（東京大学医学部附属病院 薬剤部）</p> <p>3 「精神科医療における適切な薬物療法を考える」 根本清貴（筑波大学医学医療系 臨床医学域 精神医学）</p>
学術講演会	2022/11/26	北里大学 大村記念ホール	86名	<p>【COVID-19の予防薬、治療薬の開発～基礎から臨床まで～】</p> <p>1 「SARS-CoV-2の細胞内侵入経路とその阻害剤の探索」 山本瑞生（東大医科研）</p> <p>2 「COVID-19抗原検査試薬の開発」 青柳克己（富士レビオ（株））</p> <p>3 「SARS CoV-2 mRNA/LNPワクチンの製造と品質情報について」 花田賢太郎（国立感染症研）</p> <p>4 「COVID-19治療への抗体医薬トシリズマブを用いたアプローチ」 山下勝久（中外製薬（株））</p> <p>5 「COVID-19経口治療薬Ensitrelvir（S-217622）の創製」 立花裕樹（塩野義製薬（株））</p> <p>6 「新型コロナウイルス感染症 診療の実際」 鈴木雄介（北里大学薬学部、北里研究所病院）</p>
オンライン受賞記念講演会	2022/12/8 15・22	オンライン開催	全体で159名	<p>【December afternoon-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新規機能性材料に向けたジオール化合物に反応して構造転移するミセル系と粘弾性特性変化」 三木涼太郎（城西大学薬学部）</li> <li>・「Development of catalytic asymmetric reactions and its application to the syntheses of bioactive natural products」 崔進（微生物化学研究所）</li> </ul> <p>【December evening-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「超音波診断治療システムの実現に向けたマイクロバブル開発と脳標的薬物送達への応用」 小俣大樹（帝京大学薬学部）</li> <li>・「脱芳香化を基軸とした安定分子構造の直接変換法の開発と展開」 根本哲宏（千葉大学大学院薬学研究院）</li> </ul> <p>【December afternoon-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ジスルフィド形成を基盤とした新規中分子ペプチド合成法の開発」 田口晃弘（東京薬科大学）</li> <li>・「ニトロンの新しい化学の開拓」 田村修（昭和薬科大学）</li> </ul> <p>【December evening-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「睡眠に関連した海馬と大脳皮質の神経活動の電気生理学的・薬理的探究」 松本信圭（東京大学大学院薬学系研究科）</li> <li>・「夢のある大村天然物創薬」 砂塚敏明（北里大学大村智記念研究所）</li> </ul> <p>【December afternoon-3】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「天然薬物生合成酵素の機能解析と有用物質生産への応用」 森貴裕（東京大学大学院薬学研究科）</li> <li>・「ビタミンAとがん：ビタミンAとその誘導体によるがん細胞の増殖抑制とその作用機序」 高橋典子（星薬科大学）</li> <li>・「窒素原子を含む結合活性化化学種の発見」 大和田智彦（東京大学大学院薬学系研究科）</li> </ul>

#### 4 若手のための取組

- ・本年度、支部奨励賞は各分野から応募がみられた。引き続き、HPや幹事等を通じ積極的な応募を呼びかける。
- ・薬学会本部からレベルの高い研究成果を持つ若手研究者に「日本薬学会奨励賞」に積極的に応募して欲しいとご意見をいただいた。過年度支部奨励賞受賞者などに、本人や研究グループ主宰者などに呼びかける。
- ・支部奨励賞は医療系分野に、薬剤師等の研究を褒賞する「臨床薬学」を別枠として設けている。これまで少なかった中、本年度ご応募をいただいたが、研究成果など、従前の支部奨励賞選考基準に基づくと、他の医療系候補と同列に比較することは難しいと再認識した。別途、若手・中堅を対象とする「医療・臨床薬学支部表彰」のような制度が必要と思われ、支部執行部会などで議論を進める。
- ・支部大会では優秀賞を口頭・ポスター発表とも選考・表彰している。若手の研究意欲を高める取り組みとして、学生をはじめ参加者の評価が高い。薬学会の入会促進や基礎・臨床薬学分野に関する啓蒙の意義が深く、今後も継続する。

5 奨励表彰(名称)	受賞者名	演題・対象研究・副賞
支部奨励賞 (5名)	崔 進 (微生物化学研究所)	「触媒的不斉反応の開発と生物活性天然物合成への応用」
	山口 晃弘 (東京薬科大学)	「ジスルフィド形成を基盤とした新規中分子ペプチド合成法の開発」
	三木 涼太郎 (城西大学薬学部)	「新規機能性材料に向けたジオール化合物に反応して構造転移するミセル系と粘弾性特性変化」
	松本 信圭 (東京大学大学院薬学系研究科)	「睡眠に関連した海馬と大脳皮質の神経活動の電気生理学的・薬理的探究」
	小俣 大樹 (帝京大学薬学部)	「超音波診断治療システムの実現に向けたマイクロバブル開発と脳標的薬物送達への応用」
第66回支部大会		
優秀口頭発表賞 (25名)	小原沢諒人 (芝浦工大理工)	「抗ウイルス作用を有するビタミン K <sub>3</sub> 誘導体の探索」
	岡角久寛 (東大院・薬)	「バトラコキシシ四環性骨格の効率的合成法の開発」
	倉林一樹 (慶應大・薬)	「ホウ素化グリコシドを用いたアリーール C -グリコシド類の新規合成法の開拓」
	佐藤秀哉 (東京理大薬)	「2-Pyrrolone 型放射線防護剤の設計と合成及び作用メカニズム解析」
	新内綾乃 (東京理大・理工)	「置換基の修飾位置がポルフィリンのがん細胞集積性に与える影響の評価」
	程雨荷 (東大院・薬)	「分子内ジスルフィド結合生成によるアミドのシス-トランス平衡の制御とジスルフィド環の立体構造解析」
	大澤陽 (岡山大院・医歯薬)	「E3 リガンドに着目した H-PGDS 分解誘導剤の構造活性相関研究」
	三浦裕太郎 (東京医歯大・生材研)	「HIV 侵入阻害剤を目指した PEG 化 CD4 ミミックの創生」
	雨澤真櫻 (筑波大・数理物質)	「2-メチルテトラリン誘導体を用いたオレキシン受容体作動薬の開発」
	中山拓 (東邦大・薬)	「Pd(TFA) <sub>2</sub> を用いたトリアリールオキサゾールの合成」
	周澧 (東大院・薬)	「A novel amide formation method by the use of potassium cyanate under acidic conditions」
	成島悠樹 (北里大・薬)	「マンガン錯体によるジアステレオ選択的酸素付加型アミノペルオキシ化 反応の開発」
	仲村美咲 (千葉大院・薬)	「溶液 <sup>1</sup> H NMR 測定によるリボソーム界面へ修飾した PEG 鎖の評価」
	伊藤亜悠 (城西大・薬)	「電気浸透流ポンプを用いた薬物の腫瘍内微量投与による抗腫瘍効果」
	有本菜由 (帝京大・薬)	「甘草由来ナノ粒子による樹状細胞の成熟化評価とメカニズム解析」
	中村亮 (横浜薬大)	「クラスターガウスニュートン法によるリナグリプチンの体内動態解析」
	岡本諒 (東京理大・薬)	「ヒト神経膠芽腫細胞のテモゾロミド耐性機構の解明」
	斯真田瑞穂 (東京理大・薬)	「健常および担がんマウスにおける細胞外小胞の体内動態の解明」
	佐々木愛理 (東薬科大院・薬)	筋ターゲティング型 mRNA 封入脂質ナノ粒子の開発
	王林思帆 (千葉大・薬)	「モデルゼブラフィッシュの病態解析による血管性認知症 CADASIL の発症機構の解明」
	關絳夢 (東京理大院・薬)	「ヒト神経膠芽腫細胞における放射線誘導の細胞運動能亢進への RAGE の関与」
	武田健吾 (慶應大院・薬)	「エリスロポエチン (Epo) による STAT5 非依存的なシグナル伝達経路の解析」
	中山晃一朗 (東京理大・薬)	「ヒト大腸がん細胞における 5-Fluorouracil 耐性機構の解明-核酸代謝経路の依存性について」
	山本真梨子 (東京理大院・薬)	「ウイルス変異が核酸増幅反応に与える影響の解析」
	高橋駿太 (慶應大・薬)	「マウス胎盤における PGE <sub>2</sub> 受容体サブタイプの発現評価」
優秀ポスター発表賞 (13名)	河村幸汰 (東京理大院・理工)	「HMG-CoA 還元酵素を不安定化する低分子化合物の構造活性相関研究」
	堀一樹 (星薬大)	「Oregonensin A 及び関連天然物の網羅的全合成」
	安成範顕 (北里大院・薬)	「Gibberellin A <sub>1</sub> 及び A <sub>3</sub> の全合成研究」
	安高賢 (慶應大・薬)	「Brefeldin A の構造を基盤としたペプチドアルカロイド型化合物群の構築」
	前田早恵 (東邦大・薬)	「ジフェニルアダマンタンを基本骨格とする環状芳香族アミドの合成及び構造解析」
	石橋光太郎 (東邦大・薬)	「アルツハイマー病モデルマウス脳でのチオレドキシ相互作用タンパク質の発現解析」
	上村憲汰 (星薬大)	「FMO計算を用いたIL10 - IL10受容体複合体間の相互作用解析」
	河口真佑 (東京理大院・薬)	「GLP-1誘導体の経鼻投与はなぜ側脳室内投与よりも低用量で薬効を示すのか」
	神谷千悠 (日本大・薬)	「粘稠性を有するイオン液体のハンドリング性の改善を目的とした多孔性シリカへの封入」
	梶和芽 (東京理大・薬)	「ヒト膵臓がん細胞におけるGemcitabine耐性機構の解析」
	エティエンコチコレイオボス (横浜薬大・院)	「C. nardus由来のβ-citronellolのHIV-1逆転写酵素 (HIV-1 RT) に対する阻害活性メカニズムの検討」
	富永ななみ (横浜薬大・院)	「皮膚エラスターゼの発現および活性制御機構の解析」
	芝端和紀 (慶應大・薬)	「コーヒーの抗炎症作用に及ぼす水出し抽出法の影響」
<b>6 会員数増強のための取組</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手奨励の項目に示した「医療・臨床薬学」に関する表彰は、学生時代に日本薬学会に入会したものの、卒業後薬剤師として働くうちに、薬学会から退会してしまうことを抑制し、会員数の確保を図る活動の一つである。</li> <li>・大学薬学部、薬科系大学の若手の教員の中には、分野によっては日本薬学会会員でないケースが散見される。幹事などを通じ日本薬学会や支部の活動を紹介、入会を奨励する。</li> <li>・薬剤師や子供を含む一般市民を対象とした研修・啓蒙活動は継続し、幅広く薬学会の活動を理解していただくことにより、薬剤師会員の確保ならびに将来的な会員増強を図る。</li> </ul>		
<b>7 その他の事業</b>		